

北陸地方整備局 松本砂防事務所
長野県
大町市

記者発表

発表日時

平成25年11月 8日
配布をもって解禁

「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」の実施について ～大町市内で初めての学習型訓練～

国土交通省松本砂防事務所・長野県・大町市は、大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施します。

本訓練は、長野県内の大町市の河川を対象に、豪雨を誘因とした大規模崩落の発生と天然ダムの形成、および複数の土砂災害の災害シナリオをベースとし、国・県・地元自治体の各機関がそれぞれの対応を確認し、現状の課題の把握と今後の危機管理対応能力の向上を図ることを目的に実施致します。

「学習型訓練」とは、災害シナリオに沿って質疑応答していくため、各機関の災害対応等の流れが、わかりやすいのが特徴です。

記

1. 日 時： 平成25年11月12日（火）13：00～17：00
2. 開催場所： サン・アルプス大町 大会議室 （長野県大町市大町1601-2）
3. 参加団体： 国土交通省北陸地方整備局 松本砂防事務所
長野県（危機管理部危機管理防災課・建設部砂防課・
北安曇地方事務所・大町建設事務所・土尻川砂防事務所）
大町市
4. 訓練詳細： 別紙資料による
5. 報道関係者の皆様へ
訓練は公開で行います。
実際の「学習型訓練」は、13時15分～16時までとなります。

資料配付先

- ・県庁会見場
- ・大町市政記者クラブ
- ・松本市政記者クラブ
- その他 専門紙

問合せ先

北陸地方整備局 松本砂防事務所
電話：0263-33-1115（代表）
副所長（技術） 地中 浩
調査課長 石川 一栄

学習型訓練について

1.1 学習型訓練とは

ファシリテーター（司会進行役）が災害シナリオに沿って質問を投げかけ、訓練参加者に回答を求める質疑応答型の訓練である。

ロールプレイング（RP）訓練との違い

- ・ 司会進行役の状況説明（シナリオ進行）を聞くことによって参加者全員が災害対応行動等の流れを共有・理解できる
→シナリオが見えないRP訓練では、参加者の経験値によって理解度が異なる
- ・ 各機関の回答を全員が同時に聞くことによって、他機関がどのような対応をしているのか理解できる
→機関ごとにブースで区切られ、自らの対応行動に追われるため、RP訓練では、他機関の動きが分からない
- ・ 時間軸にとらわれないため、場面を区切った訓練ができ、その都度、補足や解説を行うことにより理解度を向上できる
→時間軸に沿って進行するRP訓練では、開始してから終了するまで一連の進行を中断することができない



司会進行役が災害状況(シナリオ)を説明しながら訓練参加者に質問

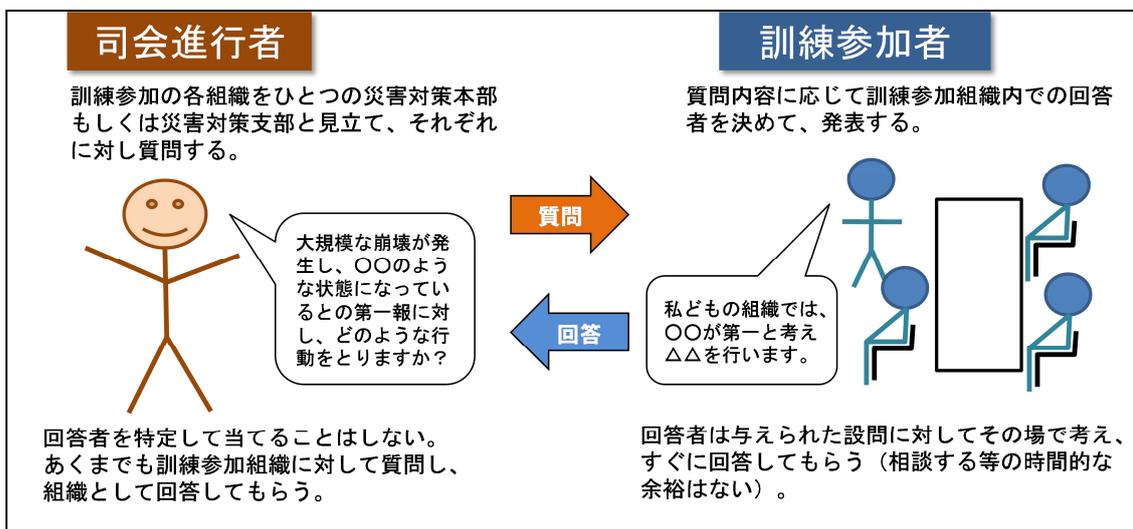


指名された機関が状況を踏まえて対応すべき行動を口頭で回答

1.2 学習型訓練の進行方法

■基本的な進行

「進行者」と「訓練参加者」にわかれ、想定した災害シナリオに則して状況付与を行った上で、「進行者」は「訓練参加機関」に、その対応について様々な「質問」をし、「訓練参加機関」は「回答」（相談しても良いが時間的余裕は与えない）する形式で進行する。このように、逐次対応する形で行うので、実時刻に基づいた進行とはならない。



■進行者の役割

「進行者」は、場面に応じて他機関にも質問したり、各ステージの最後で内容の総括を行ったりする。

